

の批註に河之懐丸一紙のり筋で終り之開帳しん心

まゝふこり筋をかいたしなり室はまうかあるんがう保陰以ての更用

單便のり下知そんにはアの筋中があるんがうこの言社の能へ

アの改好よに一筋し能う下終つておんそん心のに言社れこへはこ

ともやのりだこの上筋なが能うしははらとへはここととま水か

事取の更第一紙しんこの言社の批註と新章しん

保陰以ての更事と筋中をより出さる

單便のり下知と筋中をより出さる

若田の敵三井玉正と申し遺也

芝浦製作所鶴見工場控者久(四)



九月廿日

芝浦製作所鶴見工場為勵事と陸道堂と係

一 労働者側

一 陸道堂側

未だ言社に出筋する一紙と表層陸道堂の固まりの筋とん心

四日以より取坊片之七者討し私に入坊を申込るゆえに

控者

二 言社側

町民協会は訴出に際し言社より約四千枚の印をとり

二 証人

三 証人会場を移す事

九月廿日午前十時より証人会場を移す事

一 両名を証人として取り出す事

2. 1. 1
1062